

ふれあい 曾山医院

志筑1391-9
Tel:62-5566

2026年1月号
(第160号)

発行人
曾山 信彦



編集委員会



曾山医院
ホームページ
soyama-clinic.com



2型糖尿病治療薬

日本人の糖尿病患者数は近年増加傾向にあり、特に肥満患者の増加に伴い2型糖尿病が増えています。その原因としては、食生活の欧米化や運動不足などが影響していると考えられます。

高血糖と症状

今の医学では合併症が発病してから治すのはなかなか困難なので血糖値が高いと分かったら、それを正常にして合併症をおきないようにすることが大切ですが、高血糖目体には自覚症状はほとんどなく、また合併症もまだ



いぶ進行するまで苦痛がないため患者さん自身が病気であることを自覚できず、治療がおろそかになりがちなこと、それが糖尿病で最も注意しなければならぬポイントです。健診などでHbA1Cの高値を指摘され気づく人がほとんどです。そのため、血糖値が高いと指摘されたら、血糖値を正常にコントロールして合併症が生じないようにすることが大切になります。糖尿病の合併症に糖尿病網膜症があり眼の神経

が障害され失明を起します。また腎機能では糖尿病性腎症があり腎臓機能の低下から人工透析が必要になります。他に末梢神経障害があり手足の痺れや感覚異常が起き、さらに放置する

食事療法

糖尿病と言われたら、まず食事に気をつけましょう。適切な体重を維持しながら日常生活に必要なエネルギーを摂取しましょう。食べすぎは血糖コントロールを悪化させるので注意が必要です。

食事療法



と心臓病や脳卒中の発作が起きることも少なくありません。糖尿病は、患者さん自身が病気であることを自覚できず治療がおろそかになることが最も注意しなければならぬことがポイントです。

運動療法

運動不足は肥満の原因で血糖値が高くなりやすい状態を招きますので、日常生活の中に毎日続けられる簡単な運動を行いましょう。いきなりジョギングなどは過激すぎるのでスト

運動療法



薬による治療

また安定した血糖コントロールを行うために薬による治療があります。糖尿病治療薬には飲み薬と注射薬があります。今回は注射薬について説明します。注射と聞くと「毎日、針を自分で刺す」というイメージがありますが、最近は週1回投与の基礎インスリン製剤もあります。ゆっくりと長期にわたって作用するため、週1回の投与で持続した効果が期待されます。



マイナンバーカードが
保険証として使えます。

毎週同じ曜日に皮下注射。注射する時間はいつでも構いません。注射を忘れた場合は、気づいた時点で直ちに注射する。その次の注射は4日以上の間隔をあけてから行い、その後は新たな開始日と同じ曜日に注射をする。1回あたりに投与する量は、1週間分のインスリンを1回で注射するため毎日投与の基礎インスリン製剤よりも高い濃度で作られています。そのため1回あたりに投与する量は毎日投与の基礎インスリン製剤とかわりありません。詳しくは主治医にご相談ください。